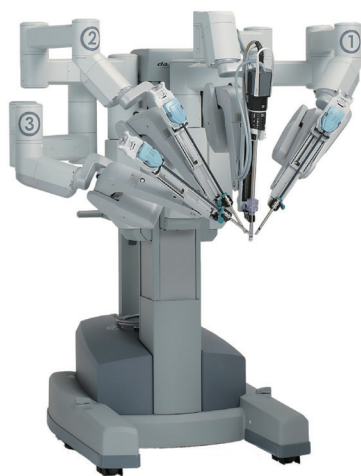


Medical News



下部消化管治療における

革新と展望



Da Vinci "Si"
Surgical System



Da Vinci "Xi"
Surgical System

©Intuitive Surgical

ロボット手術の歴史

内視鏡手術支援ロボットは、2012年に前立腺全摘術において保険収載されて以降、急速に普及が進んでいます。現在、国内では消化器外科、泌尿器科、呼吸器外科、産婦人科、心臓血管外科領域など多岐にわたって使用されています。消化器外科領域においては2018年に直腸、食道、胃に対して、2020年に膵臓、2022年に結腸、肝臓が順次保険収載され、ロボット手術の施行件数は年々増加しています。当院では現在直腸および結腸に対してロボット支援手術を行っています。

大腸がん治療

一部の早期がんを除く大腸がんにおいて、治癒を目指すためには手術が必要となります。当院ではロボットや腹腔鏡を用いた低侵襲手術を積極的に取り入れており、がん治療における根治性を保ちつつも、患者さんの負担を減らす手術を心がけています。また、周囲に進展している場合には、多臓器合併切除を伴う拡大手術や手術前の抗がん

消化器外科 医長 口分田 亘

香川大学 平成27年卒業
日本外科学会専門医
日本消化器外科学会専門医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医

剤治療を行うなど、それぞれの患者さんに応じて機能温存と根治性を考慮した最適な治療を実行しています。

ロボット手術の実際

ロボット手術は従来の腹腔鏡手術の弱点を克服し、その利点をさらに進化させた技術です。従来の腹腔鏡手術と同様に、お腹にいくつかの小さな穴を開け、そこから鉗子を挿入して手術を行います。開腹手術と比較して、小さな傷で手術を行うことが出来るため、術後の疼痛が少なく、回復も早いと報告されています。腹腔鏡手術では鉗子を直接手で触って操作するのに対し、ロボット手術では執刀医は手術室に置かれたコンソール（コックピット）に座り、ロボットを通じて鉗子を操作して手術を行います。当院で使用しているロボットには4つのアームがあり、執刀医はカメラと3本の鉗子を操作し、患者さんのそばにいる助手と連携しつつ、異常時にはいつでも対応できるよう手術に臨んでいます。

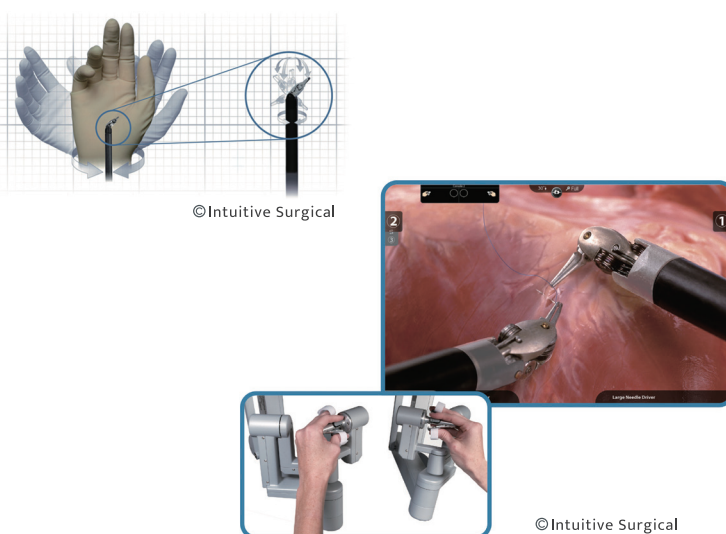
腹腔鏡手術に対するロボット手術の特性として、次の3点が挙げられます。①3D画像：3Dカメラを用いた腹腔鏡手術であり、奥行きのある立体的な視野で、より安全に手術を行うことができる。②多関節機能：従来の腹腔鏡手術では曲がらない鉗子を使用するため、直線的な動きしか行うことができず、鉗子に可動制限がありました。ロボット手術の鉗子には多数の関節が付いており、鉗子の自由度が上がったことにより、体内の奥深くにおいても、まるで人間の手のような複雑な動きが可能となる。③手ぶれ防止機能：モーションスケールや手ぶれ防止機能により、繊細な操作をより精密に、より正確に行うことができる。これらのロボットの特性を活かすことで、より質の高い根治性と機能温存とのバランスを実現することが可能となりました。

特に直腸がんに対する手術では、その局在から術中の骨盤内臓神経や骨盤神経叢の損傷を起因とする、術後泌尿生殖機能障害が問題となります。ロボット手術では、先述の特性により、神経の走行を正確に認識し温存することができるため、腹腔鏡手術と比較して、これら合併症の発症頻度が少ないと報告されています。その他、ロボット手術は従来の腹腔鏡手術と比較して、出血量、開腹移行率、術後在院日数が少ないと報告されています。ロボット手術は歴史が浅いため、現時点では長期成績の報告は少ないですが、単施設の報告では局所再発率、全生存期間やがん特異的生存期間において、従来の腹腔鏡手術と比較して良好とする報告も出てきており、今後さらなるエビデンス

の構築が待たれるところです。

ロボットシステム

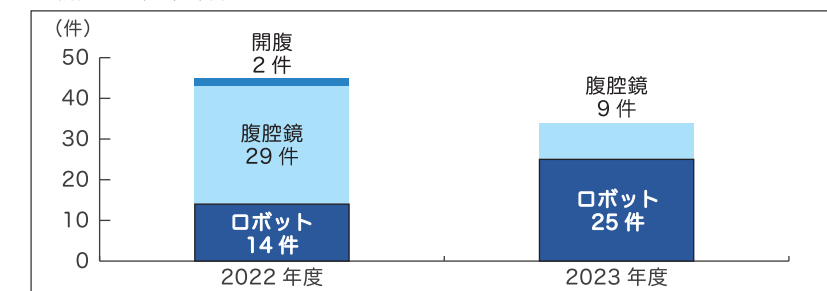
現在当院のロボット手術はINTUITIVE社のDa Vinci Xiシステムを使用しています。従来型のSiシステムでは、4本のアームが本体の背後にある支点から伸びていたため、患者さんに装着する際に制限があり、それぞれのアーム同士の干渉によって鉗子の可動制限が生じることがありました。次世代機のXiでは、患者さんの直上に配置した天吊りの支点からそれぞれのアームが配置されるようになっていること、アーム自体は細く、関節の数が増え、関節の可動域も広がったことにより、アーム同士の干渉が減り、より自由度の高い操作を行うことができるようになりました。これにより、患者さんの体格や腫瘍の位置などによる影響を減らすことができ、手術の質を高めることが可能となりました。



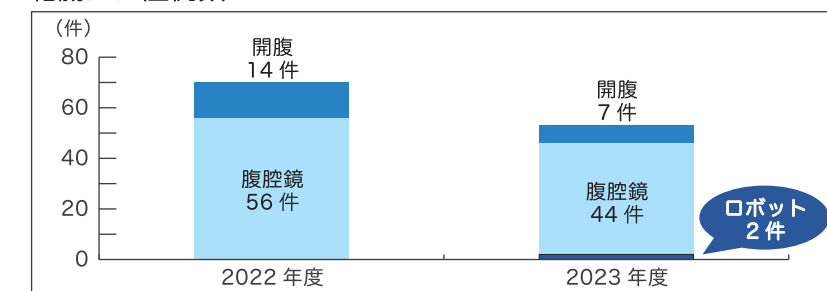
当院での現状

当院では、2017年より直腸がんに対してロボット手術を開始し、その数を増やしてきており、昨年は直腸がん手術全体の約80%をロボット手術で行っています。Da Vinci Xiシステムを導入、使用するなかで、ロボット手術の進化を実感するとともに、今後消化器外科領域でもロボット手術が中心となっていくと考えています。当院では結腸がんに対しても2023年からロボット手術を導入しており、今後は胃や膵臓、鼠径ヘルニアなどにも適応を拡大していきたいと考えています。

直腸がん症例数



結腸がん症例数



周術期における感染管理認定看護師の役割

当院には感染管理認定看護師が3名在籍しており、専従または兼任として、施設内および地域における医療関連感染予防のための対策と実践および支援を行っています。その医療関連感染のひとつに手術部位感染(Surgical site infection: SSI)があります。SSIは手術操作が直接および部位の感染で、手術創の感染とともに縫合不全、遺残膿瘍など腹腔内感染が含まれ、医療関連感染の約20%を占める術後合併症です。SSI発生率は年々減少しているものの、JANIS(Japan Nosocomial Infections Surveillance)による手術部位別発生率は、膵臓、食道に続き小腸、直腸などの下部消化管となっており、起因菌として

は腸内細菌科細菌および嫌気性菌が大半を占めています。SSIを発症すると入院期間の延長や経済的負担、肉体的および精神的苦痛をもたらします。しかし、エビデンスに基づいた対策を実施することで、最も予防可能な医療関連感染症ともいわれています。

手術は多くの部門や職種が関わり成り立っています。私たち感染管理認定看護師はSSIサーベイランスを行い、PDCA(Plan, Do, Check, Action)サイクルを繰り返すことで関連する部門や職種と情報共有し、チーム一丸となり周術期における対策を実践することで、高い専門性と安全な医療を提供できるよう日々励んでいます。

感染管理認定看護師・特定看護師 石田 珠水

開業医探訪

Vol.78



西田医院

2024年7月の開業医探訪は、阪急春日野道駅西口から徒歩2分、内科・循環器内科診療を行っている「西田医院」へ訪問しました。

— 診療を開始されてどれくらいになりますか？

祖父が1955年(昭和30年)に大安亭市場付近で開業したのが始まりです。1994年(平成6年)に現在の場所に移転し、昨年より父から引き継いで診療しています。現在69年目になりました。

— どのような患者さんが来院されますか？

風邪症状などはもちろん、私が循環器を専門としていることもあり、動悸・不整脈といった循環器系の疾患などの診察・検査をしています。また、中央区を中心に往診も随時行っています。小学校高学年からご高齢の方まで幅広く来院されますが、オフィス街に近いこともあり、最近では三宮付近からも多く来院されるようになりました。

— 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

病状だけでなく、心配事やつらいことなど患者さんの話をよく聞くように努めています。診察前に考えていることや不安なことなどを書いていただき、疑問点等がないか確認しながら診療し、安心して帰ってもらえるように心掛けています。

— ひとこと

診療も含めて地域に寄り添い、まず当院に相談すれば安心と思ってもらえるような診療所でありたいと考えています。また、どこの病院や診療科へ行けばよいか悩まれる患者さんもおられますが、まずかかりつけ医に気軽に相談していただければと思います。

西田医院

〒651-0091
神戸市中央区若菜通4丁目2-4 NK ラポート 201号
TEL: 078-221-1412
院長: 西田 俊彦

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
15:00~18:00	○	/	○	/	○	/	/

休診 火曜午後、木曜午後、土曜午後、日曜、祝日

第43回 研究カンファレンス

日時 2024年7月25日(木)
17:30～18:30

ハイブリッド
開催

場所 神鋼記念病院 呼吸器センター5階 大会議室
(ハイブリッド開催：会場およびWEB同時配信)

演題 『サイトカインに関する誤解と臨床活用
～ IL-6 を中心に ～』

演者 赤坂クリニック 血液・腫瘍科 **高橋 隆幸** 先生

申込方法 <https://forms.gle/KYGV6xE35DYGmsoP8> または
QRコードより参加申込をお願いいたします。

お問合せ 神鋼記念病院 総務室 山神
Mail: yamagami.hiroko@shinkohp.or.jp
TEL: 078-261-6711



Medical News

2024年7月
Vol.204

Shinko Hospital

Contents

- 下部消化管治療における革新と展望
- 周術期における感染管理認定看護師の役割
- 開業医探訪
- インフォメーション

■ 神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して皆様に愛される病院を目指します。

■ 基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。
6. 職員が心身ともに健康で、一人ひとりの能力を発揮できる職場づくりを推進します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47
TEL:078-261-6711 (代表)

FAX:078-261-6726

URL:<https://shinkohp.jp>

発行責任者：理事長 山本 正之

編集責任者：神鋼記念病院広報委員長
松本 元

詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院 検索

<https://shinkohp.jp>



「第8回 連携医と集う会」を開催しました

6月20日(木)に当院にて「第8回連携医と集う会」を対面とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。

本会は、日ごろからお世話になっている当院の連携医の皆さまに、当院の最新の治療成果や診断・治療方法について講演し、医療の質を高め、更なる地域連携の強化を確かめ合う目的で開催しています。今回は、院長 東山洋のあいさつの後、肝移植のスペシャリストである消化器センター長の小川医師、当院での限局性前立腺がんの治療に対する取り組みを、当センター副センター長の結縁医師が講演しました。ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。



講演内容

座長：地域医療連携センター長・副院長 鈴木 雄二郎

① 「近年の肺癌治療成績について」

消化器センター長・消化器外科 部長：小川 晃平

② 「PSA 高値に対する精査と、当科での限局性前立腺癌に対する手術適応やセンチネルリンパ節生検のご紹介」

地域医療連携センター 副センター長・泌尿器科 部長：結縁 敬治